

## 平29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ストレスに負けない自分を育てる「まいさぼ講座」(若者や引きこもり者等を対象とした、就活や就労のためのステップアップ講座)
事業主体 (連絡先)	伊那市社会福祉協議会 (0265-73-2541)
事業区分	(2) 保健、医療、福祉の充実に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	600,000 円 (うち支援金: 450,000 円)

### 事業内容

桜美林大学 健康心理・福祉研究所研究員の須永久恵健康心理士を講師に迎え、講座受講前及び受講後の個別カウンセリングを含む全5回講座の開催し、伊那市内在住で求職及び就職中の方の新規就労や離職防止を目指す。

- 1、まいさぼ講座 5月21日～6月18日  
1回3時間5回開催 参加者7名 のべ23名
- 2、カウンセリング 5月～翌年3月  
参加実人数6名 のべ23回開催



【まいさぼ講座】

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- 1、一般企業就職 1名  
長期ひきこもりだったが、一般企業へ就職
- 2、中間就労(生活困窮者就労訓練) 1名  
地元企業の協力を得て現在週2回の就労に従事
- 3、一般企業就労継続 3名  
ストレスマネジメント等を学び、継続勤務中
- 4、ステップアップ 1名  
家の用事をするなど、生活範囲や生活習慣に変化

### 【目標・ねらい】

市内企業や事業所と協力しながら、求職中及び就職中の方の新規就労や離職防止を目指す。

### ※自己評価【 B 】

#### 【理由】

市内企業の協力を得ながら、講座や丁寧なカウンセリングの結果当初のねらいが達成できた。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

平成30年度には国の自立支援法の改正などもあり、今後もひきこもり等への支援はさらに必要になってくると感じています。その際には就労訓練等の場が大切になってくるため、市内の企業や事業所とさらなる連携を取りながら、講座やカウンセリング終了後の就労体験等の場づくりを行いたいと思っています。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある